

## 事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	75%	25%		<ul style="list-style-type: none"> <li>定員10名を目指し曜日移動等を促している</li> <li>個室なども完備されており圧迫感などなく一人ひとりが過ごしやすい広さだと思います。</li> <li>パーテーションを使用することで集中しやすい環境づくりを意識している。</li> </ul>
	②	職員の配置数は適切であるか	75%	25%		<ul style="list-style-type: none"> <li>なるべく1対1での対応をしたり、キャンセル待ちを案内できるよう意識している。</li> </ul>
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	75%	25%		<ul style="list-style-type: none"> <li>車いすの利用者についても、受け入れができるいる。</li> <li>エレベーターなど利用できるので利用者の方も3階まで上がりやすいです。</li> </ul>
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	62.5%	25%	12.5%	<ul style="list-style-type: none"> <li>支援については、モニタリングを実施し対応できているが、その他の業務については意識づけはできていると思う。</li> <li>週に一度共有事項など共有できる話し合いを設けていたり、他の事業所の方から案を聞いてみたりと改善に向けて取り組んでいる。</li> <li>週に一度現場のスタッフで話し合いができる時間を設けている。</li> </ul>
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	50%	50%		<ul style="list-style-type: none"> <li>毎年調査を実施し、フィードバックがある。</li> </ul>
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	57.1%	28.6%	14.3%	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	57.1%	58.6%	14.3%	<ul style="list-style-type: none"> <li>昨年、A型事業所にて実施された。</li> </ul>
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> <li>回覧や周知などされている。</li> <li>こども部会への参加などの機会を活用し、資質の向上に努めている。</li> </ul>
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	87.5%	12.5%		<ul style="list-style-type: none"> <li>1回のアセスメントで適切に分析できているかわからない。特に子供のニーズ。</li> <li>半年に1回のモニタリングを通じ、ニーズの把握等に努めている</li> </ul>
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	62.5%	37.5%		<ul style="list-style-type: none"> <li>あるのかもしれないが、それがアセスメントツールと認識していないかも。</li> </ul>
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	87.5%	12.5%		<ul style="list-style-type: none"> <li>個別対応のため、基本は担当者に委ねられる。困った際に周囲や会議で相談できている。</li> <li>児童によっては、どのような活動を行っていくか協議して決めている。</li> </ul>
適切な支援の提供	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	87.5%	12.5%		<ul style="list-style-type: none"> <li>長期的にみれば、流動的に変更されている。</li> <li>モニタリングで保護者の意向も交えながら、目標を見直している。</li> </ul>

					<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの能力や好きなものに合わせて活動内容を変えている。</li> <li>子どもの興味関心に合わせた活動内容を提案している。</li> </ul>
⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	50%	37.5%	12.5%	<ul style="list-style-type: none"> <li>イベント等は実施していない。卒業が近い児童に対しては課題を設定している。</li> </ul>
⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	25%	37.5%	37.5%	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別対応が主であり、自由時間に他の児童と関わりがあれば、コミュニケーションを図る機会として介入する。</li> </ul>
⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	62.5%	25%	12.5%	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用人数やイレギュラーな予定が入っている場合は情報共有をする。</li> <li>注意が必要な児童によっては行っているが、全ての児童に必ずとまでは行っていない。</li> </ul>
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	50%	25%	25%	<ul style="list-style-type: none"> <li>営業終了時間と退勤時間が一緒のためできない。</li> <li>保護者への報告をどうするか、打ち合わせをする児童はいる。その他、メール報告の原案を見てももらっている。</li> <li>難しかった対応や自分の思うようにいかなかつた場合はほかの職員へその日のうちに質問するようにしている。</li> </ul>
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	75%	25%		<ul style="list-style-type: none"> <li>書き方の周知はされているが、記録と保護者報告が一緒のため、書き方はここに任されている。</li> </ul>
⑯	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%			
⑰	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	42.9%	57.1%		<ul style="list-style-type: none"> <li>アセスメントによる個別支援計画書に基づいているため、個々で異なる。</li> </ul>
⑱	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%			
⑲	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	14.3%	85.7%		<ul style="list-style-type: none"> <li>出席扱いになる児童が在籍する学校とのやりとりや、相談支援専門員を経由して把握する。</li> </ul>
⑳	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	28.6%	57.1%	14.3%	<ul style="list-style-type: none"> <li>そういった児童の利用がない。</li> <li>医療的ケアが必要な子どもの受け入れがまだないためわからない</li> </ul>
㉑	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		71.4%	28.6%	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要性を感じるが実現していない。</li> </ul>
㉒	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	28.6%	71.4%		<ul style="list-style-type: none"> <li>そういったところに立ち会っていないため不明。</li> </ul>

機関や保護者との連携	(25) 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	57.1%	28.6%	14.3%	
	(26) 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	14.3%		85.7%	● 地域活動の機会が少ないため、今後そういった機会があれば検討したい。
	(27) (地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	57.1%	28.6%	14.3%	● 中区の子ども部会に積極的に参加している。
	(28) 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	87.5%	12.5%		● 療育後の報告には力を入れており、保護者とのコミュニケーションも取れている
	(29) 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	14.3%	42.9%	42.9%	● 研修は受けているが、実践できていないため、機会があればしたい。
保護者への説明責任等	(30) 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	71.4%	28.6%		● 支援の内容について丁寧に説明している。
	(31) 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	42.9%	57.1%		● 正しい助言ができるかどうかわからないため
	(32) 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		14.3%	85.7%	
非常	(33) 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	87.5%	12.5%		● 苦情があった場合、こちらでの状況を説明し、どういった対応をしたらいいか保護者と協議している。
	(34) 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	85.7%	14.3%		● 能美さんがやっています。封筒詰めの確認などをやっています。
	(35) 個人情報に十分注意しているか	100%			
	(36) 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%			● 保護者に直接説明したり、メール報告を行っている。
	(37) 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	14.3%	28.6%	57.1%	
	(38) 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	14.3%	42.9%	42.9%	
(39)	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		58.8%	46.2%	
	(40) 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%			

特 等 の 対 応	(41) どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	14.3%	57.1%	28.6%	● 身体拘束については研修を受けているが、それを必要とする児童がいないため盛り込んでない。
	(42) 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		71.4%	28.6%	● おやつの提供がないため、食物アレルギーの対応はしていない。 ● ここで食事を提供することは無いので、配慮の必要がありません。
	(43) ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	71.4%	14.3%	14.3%	